

事前に募集した委員からの意見等について

NO	質問	回答
1	水道水は本当に安全なのでしょうか。	水道水は水道法で健康被害が生じないように水質基準が決められています。水質検査計画に基づき、毎日検査として色と濁りおよび残留塩素濃度の検査、毎月検査として水質基準項目の水質検査を定期的を実施し、水質基準を満たした安全な水道水を供給していますので、安心してご利用してください。水質基準については、環境省により最新の知見に基づき、逐次改正されています。
2	水道の水質管理はどのようにされていますか。 もし異常が発見された場合はどのような対応をされていますか。	本市水道局では、水源から給水栓までの水道システムにおけるリスクの抽出、監視体制の構築、対応方法について定めた水安全計画により、安全な水道水を供給できる体制となっています。 水質基準を超過するなどの異常が発見された場合は、原因を調査し必要な対策を講ずるとともに配水管内の水道水の排水及び管の洗浄を行います。また、場合によっては給水制限や給水停止などを行うこともあります。
3	水道水の原水である高梁川の水質は、取水する場所によって（浄水場ごとに）水質が異なるのでしょうか。	水道の水源としては、川の水である表流水および井戸水（伏流水及び地下水）に分けられます。表流水は、川の水であるため、浄水処理を行い水道水を作っています。井戸水である伏流水及び地下水は自然に浄化されているため、基本的には浄水場で消毒するだけで水道水となります。 倉敷市で高梁川の表流水を直接取水している浄水場としては、本市水道局の片島浄水場、岡山県南部水道企業団の西阿知浄水場がありますが、水質は概ね同じものとなっています。
4	水道局がきれいな水を送っても、蛇口が汚れていると、結果的に汚い水を使うことになるので、蛇口の定期的な掃除のお願いなどの周知を水道使用者にしてもよいのではないか。	宅内の蛇口などは使用者等の維持管理によるところです。現在、新築された方にお配りしている水道のしおりやホームページで、適切な維持管理について使用者の皆様をお願いしています。
5	水道管の老朽化対策を具体的に知りたいです。 また、進捗状況についても教えてください。	本市水道局では、水道管は毎年約 3 0 k m の更新を行っており、破損した場合の影響が大きい管路など優先順位をつけて実施しています。本市において法定耐用年数 4 0 年を超えた水道管の割合は、令和 5 年度末時点で管路延長の 19. 76 % です。類似団体（給水人口 3 0 万人以上の中核市）の平均値は、28. 57 % となっています。
6	埼玉県で発生した事故で各地で下水道管の調査が行われているようですが、倉敷市でもその調査が行われているのでしょうか。 また、能登半島地震で水道の重要性が改めて見直されている今、倉敷市でも南海トラフ地震を見据え対策を考えているのか伺いたいです。	本市下水道部では、令和 7 年 1 月に発生した埼玉県八潮市の下水道管破損に伴う道路陥没事故を受けて、2 月に危険性が高い箇所約 4 k m の緊急空洞調査を行った結果、対応の必要がある空洞はありませんでした。令和 7 年度は国土交通省からの要請に基づき、平成 6 年度（1 9 9 4 年度）以前に設置された管径 2 m 以上の下水道管路約 1 0 k m を対象に管内調査を行う予定です。 本市水道局では、南海トラフ地震等を見据えた対策としては、地震に強い水道管への敷設替えや既存施設の耐震化を計画的に推進して実施するほか、災害時等の水道水確保のため配水池への緊急遮断弁の設置、耐震性貯水槽の設置などを行っています。
7	耐震性貯水槽の設置場所の数は足りていますか。	災害時には市内 5 箇所に設置した容量 1 0 0 m ³ の耐震性貯水槽に加え、給水車による巡回給水を併用し、被災状況に応じて応急給水活動を実施するよう計画しています。 巡回給水に必要な水道水は、緊急遮断弁を設置した配水池に約 2 5, 0 0 0 m ³ （1 人 1 日 3 ℓ 換算で市内人口の約 1 7 日分）確保できることとなっており、必要最低限の量を確保できていると考えています。

事前に募集した委員からの意見等について

NO	質問	回答
8	水道料金の値上げ後、市民からどのような声がありましたか。	昨年 8 月下旬の料金改定の発表以降、今年 4 月までの約 8 か月間で、水道総務課あてに約 5 0 件の問い合わせがありました。内容としては、改定率の根拠や改定時期などチラシ等の広報物の内容に関する問い合わせがほとんどでしたが、水道料金の値上げにより生活が圧迫されるとの訴えや料金改定後の水道事業はどうなっていくのかなど将来の見通しについて知りたいといった声もありました。
9	倉敷市の水が、他県他市に比べて安心安全に提供されているということを知り、私たちが生きていくうえで必要な水の情報をより多くの人に関心をもってもらえるといいなと思います。 広報紙やSNSなどの広報活動にも力を入れて広めていっているところだと思いますが、小学生4年生で水について学んでいくことに加えて、夏休みの宿題にあるポスターに、倉敷市の水道のポスターもあったりすると親子で水のことに興味をもつきっかけや関心に繋がるのではないかと考えます。	倉敷の水道について、現在、イベントやホームページ、出張授業など様々な方法で情報発信を行っています。特に、親子で水のことに興味をもっていただく広報としては、イベントでのきき水体験や子どもの頃から水道水を飲む習慣を身につけてもらえるよう幼稚園児や小学生を対象とした出張授業などを実施しています。今後も各種イベント、ホームページなど様々な機会を活用し、水や水道について興味関心をもっていただけるきっかけづくりをしていきたいと考えています。
10	人工衛星データを活用し、水道管の漏水を検知するシステムがありますが、今後検討してみてもうでしょうか。	人工衛星を利用した漏水調査は、従来の手作業で水道管の音を聴く調査よりも作業効率の向上やコスト削減につながるといわれており、現在、岡山県と近隣市町村との連携による導入を予定しています。
11	審議会の開催で委員の予定を合わせるのが難しいことがあるかと思いますが、ウェブ会議システムを取り入れるのは難しいでしょうか。	ウェブ形式での開催が可能か、問題点を整理し今後検討します。
12	審議会の通知などが速達で来るのが気になる。経費節減してはどうか。	日程に余裕のない場合は、必要に応じて速達を利用しています。余裕をもった送付準備に努めるとともにメールの活用など、郵便代に限らず経費削減に努めます。